

平成28年12月三木市教育委員会（定例会）会議録

◇ 日 時

- 1 開 会 平成28年12月16日（金）午後2時00分
- 2 閉 会 平成28年12月16日（金）午後3時45分

◇ 場 所 三木市役所 5階 大会議室

◇ 会 議

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 会議録の承認
- 4 議 案
議案第14号 第2期三木市教育振興基本計画の策定について
- 5 協議事項
協議事項16 平成29年度三木市教育委員会重点施策経費について
- 6 報告事項 平成27年度社会教育活動状況報告書について
- 7 その他
次回教育委員会定例会の開催日時について
- 8 閉 会

◇ 会議に出席した者の職氏名

教育委員	1番	委 員 長	里 見 俊 實
	2番	委員長職務代行者	井 口 徹
	3番	委 員	石 井 ひろ美
	4番	委 員	浦 崎 秀 一
	5番	委員（教育長）	松 本 明 紀
事務局		教育企画部長	西 本 則 彦
		こども未来部長	永 尾 勝 彦
		こども未来部参与	岩 崎 恵
		教育政策課長	大 西 真 一
		教育環境整備課長	貞 松 保 夫
		文化スポーツ振興課長	堀 内 基 代
		図 書 館 長	伊 藤 真 紀

学 校 教 育 課 長	横 田 浩 一
教育センター所長	大 東 豊
就学前教育・保育課長	成 瀬 拓 生
子育て支援課長	井 上 典 子
参与兼企画調整課長	藤 原 幸 彦
人権推進課長	與 倉 秀 顕
教育政策課主査	五百蔵 一 也
教育政策課主任	橋 本 祥 子

傍 聴 者 0 人

◇ 会議内容

委員長が議事の進行について、協議事項16は意思形成段階の案件であるため、三木市教育委員会会議規則第5条第1項ただし書きの規定により、非公開で審議することについて委員に諮り、同意された。

1 開 会

委員長が、平成28年12月三木市教育委員会定例会の開会を宣言した。

2 会議録署名委員の指名

委員長が、本日の会議の会議録署名委員に、井口委員長職務代行者と松本教育長を指名した。

3 会議録の承認

委員長が、平成28年11月定例会（16日開催）の会議録について委員に諮ったところ、里見委員長及び井口委員長職務代行者から一部内容について修正を求める発言があった。委員長がこのことについて委員に諮り、全員一致で承認された。

4 議 案

【議案第14号】

第2期三木市教育振興基本計画の策定について

○大西教育政策課長が次のように説明した。

第2期三木市教育振興基本計画の策定について、三木市教育委員会の権限に属する事務の一部の教育長への委任等に関する規則第2条の規定により、委員会の議決を求める。

計画の策定に当たり、10月26日から11月24日までパブリックコメントを実施し、1人から意見をいただいた。意見の内容は、「施策に対しての数値目標が記載してあるものは明確に分かるが、数値目標の記載のないものに関しては、どのようにして実績を示すのか」というものであった。計画の進行管理は、毎年度、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づき、「教育委員会の事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価」により行っていくこととしており、その中で、各施策の詳細な実績についても、点検・評価していくとしている。このため、意見による計画の修正は無い。

(井口委員長職務代行者) 「三木市歴史・美術の杜構想」や「歴史・美術の杜構想」など固有名詞の表記が一貫していないので、正式名称である「三木歴史・美術の杜構想」に統一すべきである。

次に、4頁(4)グローバル化の進展の中で「本市には多数の外国人が居住し」とあるが、多数ではなく、1,000人を超えると記載してはどうか。

また、7頁(2)学校教育の現状と課題の「ウ 心の教育」で「グローバル化が急速に進展するなど、…自尊心や自立心など道徳性をはじめとした「心の教育」の更なる充実が求められています。」とあるが、自立心は生きる力のことであり、ここでは道徳性について述べていることから、自律心とすべきではないか。

(大西教育政策課長) 修正及び文案を検討する。

(井口委員長職務代行者) 全体的に「検討が必要です。」や「検討が課題となっています。」という記述が多く、他人事に聞こえる。

(里見委員長) 同感である。三木市のこれから5年間の教育の柱となる計画を策定するのであるから、主体的に記述すべきである。

(石井委員) 7頁(2)学校教育の現状と課題の「イ 学力の現状と課題」で、「学習習慣や生活習慣と学力の関係は、…小学校の方が相関が高いことから、小学校の学力において、全国と平均してやや下回っている原因であると推測できます。」とあり、これが全て原因であるというイメージを受けるが、実際は色々な原因が相まってこの結果となっていると思われるので、原因ではなく、一因という表現にすべきではないか。

また、28頁「1 学校の組織力の向上」で、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーについてそれぞれ用語の説明を入れてもらいたい。

(里見委員長) 全体的に固有名詞の統一をしてもらいたい。また、概要版の10頁で、主な数値目標が挙げられているが、学力に関する項目がない。総合教育会議でも、学力の向上について議論していることもあり、本編の数値目標にある、学校の授業時間以外の学習習慣や、全国学力調査の全国平均を100とした時の指数などを入れるべきと感じる。

次に、パブリックコメントについて、意見が1件のみというのは残念なことである。学校での取扱いについて、先生方はこの計画を目にして、意見をくださっているのか。

(松本教育長) 策定委員会において、小中学校の代表校長が委員として参加している。教職員は市民レベルの対応だが、パブリックコメントの外枠で校長から意見を聴いている状況である。

委員長が、議案第14号について採決を行い、原案に一部修正を加え、可決された。

5 報告事項

(1) 平成27年度社会教育活動状況報告書について

○大西教育政策課長が次のように報告した。

平成27年度社会教育活動状況報告書について、教育委員会各課及び市長部局の社会教育関係事業の実績をホームページ等で公表する。実績の内容は、既にご覧いただいている主要施策実績報告書と同じである。今回から、各施策について担当課で総括を行い、新たに成果と課題を追加した。

(井口委員長職務代行者) 堀光美術館において、関連事業としてミュージアム・コンサートを開催しているが、これは音楽と絵画のコラボレーションにより、美術館の宣伝効果も期待でき、高く評価している。

また、高齢者大学の運営について、入学者が平成26年度と比較して減少していることについての原因は分析されているか。

(松本教育長) 平成26年度から、大学の入学要件に、「老人クラブやボランティアに参加している方(在学中の参加予定も含む。)」を追加したことも一因であると考えられる。高齢者大学の運営委員会では、老人クラブの代表者も参加いただき、この件について議論を重ねているところである。

(石井委員) 全体的に数字化され、成果や課題が追加されたことで、多くの方からのご尽力を得られていることがよく分かる内容になっていると感じる。

地域スポーツクラブでは、別所小校区の会員数が他地区と比較しても多いが、何か違いがあるのか。

(堀内文化スポーツ振興課長) 別所小校区では、世帯数が会員数となっており、地域によって取扱いが違う。

(松本教育長) 校区によって実態の違いはあるが、別所小校区、豊地小校区、口吉川小校区及び志染小校区では、区長会等の議論を経て、ほぼ全世帯加入という合意を基に運用いただいている。

(井口委員長職務代行者) 教育センターの教育相談事業について、成

果と課題が無いが、守秘義務の関係で載せるのは厳しいという事か。

(大東教育センター所長) 相談者や保護者等との信頼関係もあるため、内容について踏み込んだ記載は難しいと考える。

(石井委員) 教育センターに行けば、話が進み、解決してもらえると
いう希望を持っている保護者は多く、役割はとても大きいと感じ
る。相談者からの申出により、内容を把握し、電話相談や面接相
談をされているが、それに対して、教育センター側からアクショ
ンを起こし、積極的にフォローはしているのか。

(大東教育センター所長) 相談者とは、面接を行い、じっくりと話を
聞き、信頼関係を構築することから始めている。学校等と連携し、
相談者の気持ちを考慮しながら、解決までの糸口を探し、進めて
いる。

(里見委員長) フォローを行うことで、具体的に登校できるようにな
った等、統計はとっているのか。

(大東教育センター所長) 相談記録があり、結果の確認はできるが、
統計はとっていない。

(松本教育長) 成果と課題について、個人が特定されるような記載は
できない。適応教室に係る人数は、成果で取り上げることも可能
であるが、教育相談に関しては十分留意する必要がある。

(里見委員長) 相談をすることでいい結果に繋がるということを、プ
ライバシーに関わらない程度に、成果として、市民に伝わる記載
ができるか研究してほしい。

(浦崎委員) 教育一般相談における、教育活動のメディア活用につい
て、電話及び面接相談回数が非常に多いが、これはどういうこと
か。最近はネットを介してのいじめが多くなっていることを耳に
したが、そういったトラブルでの相談も含まれているのか。

(大東教育センター所長) このメディア活用については、教職員から、パソコンの使用に関する問い合わせ件数である。表のうち「教育問題」は一般市民からの相談で、「教育活動」は教職員からの相談と区別している。

(松本教育長) この表では、区別について、市民にとっても伝わりにくいので、次年度より修正を検討する。

(里見委員長) 堀光美術館と文化会館について、成果と課題を記載してほしい。公共施設をこれからどうしていくかは大きな課題である。また、自主事業と貸館事業では性格がまったく違うので、利用状況では区別して記載すべきである。

(2) 教育政策課報告事項

○大西教育政策課長が次のように報告した。

平成28年度播磨東教育長会・播磨東地区教育委員会連合会合同研修会を11月28日に教育センターで開催した。京都ノートルダム女子大学学長 芹田健太郎氏を講師にお招きし、「グローバル人材の育成」をテーマにご講演いただいた。参加者は、他市町教育長、教育委員をはじめ63名であった。

(3) 教育環境整備課報告事項

○貞松教育環境整備課長が次のように報告した。

認定こども園・学校の施設整備について、11月末時点の進捗状況を報告する。

認定こども園整備事業について、(仮称)緑が丘認定こども園整備工事とよかわ認定こども園整備工事はそれぞれ60パーセントである。

学校施設整備事業について、三木東中学校校舎トイレ改修工事は12月7日に完成検査を行い、完了した。

(4) 文化スポーツ振興課報告事項

○堀内文化スポーツ振興課長が次のように報告した。

みき歴史資料館のイベントとして、第8回歴史ウォークを12月

11日に開催し、参加者は24名であった。ワークショップ「お正月準備 しめ縄を作ろう」を12月11日に開催し、参加者は16名であった。その他として、レッドボール小学生大会を11月27日に開催し、参加者は36名であった。

今後の予定として、みき歴史資料館では、歴史講座⑨「江戸時代の観光ガイドブックについて」を1月21日に、歴史講座⑩「三木城包囲網」を1月28日に開催する。その他として、市史編さん専門委員会（地域編）を12月22日に、市史編さん専門委員会（通史編）を1月6日に開催する。第69回三木市成人式を1月8日に開催する。スポーツ賞選考委員会を1月12日に開催する。

(5) 図書館報告事項

○伊藤図書館長が次のように報告した。

みき歴史資料館と図書館の充実のためにご寄附いただいた1,200万円から、図書館専用の公用車を購入した。

実施事業として、作家・福田和代さんの講演会とビブリオバトルを、中央図書館で11月23日に開催し、参加者は30名であった。歴史講演会「吉川の江戸時代を探る～農民の生活と活躍する職人集団 日原大工・黒田鋳物師」を吉川図書館で11月27日に開催し、参加者は26名であった。冬の特大大おはなし会と大型絵本展を青山図書館で12月10日に開催し、参加者は48名であった。

今後の予定として、みき歴史資料館で開催中の「三木の染形紙展」に合わせた企画展、「染形紙と切り絵～日本の伝統文様」を中央図書館で1月6日から29日まで開催する。同期間中、読書手帳「三木形紙バージョン」を設置・配布する。また、所蔵DVD「父と暮せば」の上映会を吉川図書館で1月14日に開催する。

(6) 学校教育課報告事項

○横田学校教育課長が次のように報告した。

第9回定例校園長会を12月1日に開催した。学校主要行事として、小・特別支援学校連合音楽会が11月18日に開催された。学力向上サポート事業発表会を豊地小学校、星陽中学校で、それぞれ11月22日に行った。70周年記念講演会が別所中学校、三木中学校でそれぞれ開催された。

今後の予定として、12月22日が小・中・特別支援学校の2学

期終業式、1月10日が小・中・特別支援学校の3学期始業式となっている。第10回定例校園長会を1月11日に開催する。

(7) 教育センター報告事項

○大東教育センター所長が次のように報告した。

教育センター事業では、市民講座を11月14日から18日まで開催した。不登校対策適応教室は、12月23日から1月9日が冬季休業日となっている。

青少年センター事業では、学校・警察・事業者連絡会を11月24日に開催し、ネット見守り隊パトロールの事案報告を行った。ママさんパトロールを12月3日に行った。青色パトロール講習会を12月6日に開催した。今後の予定として、年末年始の特別補導を行う。

次に、ネット見守り隊パトロール報告で重要事案があったため、報告する。学校内携帯持込事案、深夜徘徊事案については、校長に学校の実態に応じて平素からの指導を依頼している。その他の事案として、海外のエナジードリンクの注意喚起、携帯スマホアプリ使用上の注意について、情報提供として校長に報告している。

(8) 就学前教育・保育課報告事項

○成瀬就学前教育・保育課長が次のように報告した。

第9回三木市保育協会理事会を12月8日に開催した。第三者評価及び民間認定こども園「人権研修」を日程のとおり実施した。

今後の予定として、第三者評価と監査を引き続き実施する。第10回三木市保育協会理事会を1月13日に開催する。保育者合同研修会（人権研修）を1月21日に開催する。

(里見委員長) 第三者評価や監査の公表はいつ行うのか。平成29年度の園児募集は11月から始まっており、市民が参考にできる時期に公表するべきである。過去の定例教育委員会において、10月までにと要望したが、なぜ遅れているのか。

(成瀬就学前教育・保育課長) 公表に関しては初年度ということもあり、取りまとめが遅れている。平成27年度分と合わせて、平成29年2月に公表する予定である。

(9) 子育て支援課報告事項

○井上子育て支援課長が次のように報告した。

第1回みきっ子未来応援協議会子育て環境部会の視察を11月30日に実施した。多世代交流拠点で整備する大型遊具について意見交換を行うための、先進事例視察である。

アフタースクールの平成29年度当初利用の申し込み状況は11月末現在で708名である。昨年度の申込状況と比較し、97名増となっている。全ての方に利用していただけるよう、調整を進めている。

今後の予定として、多世代交流拠点施設整備事業者選定プロポーザル審査を12月20日に実施する。とうちゃん新聞第5号を12月18日に新聞折込で配布する。「大型遊具の設計に意見を出そう！小学生ミーティング」を1月14日に開催する。これは、市内小学校の5、6年生約30名に参加いただき、選定業者のプレゼンテーションに対して意見を聴き、設計・施工に反映させるものである。また、子育て講演会を教育センターで1月19日に開催する。

6 その他

次回教育委員会定例会の開催日時について

委員長が、次回の教育委員会定例会の開催予定日時について諮り、平成29年1月18日、午後2時から開催することを決定した。

(非公開)

【協議事項16】

平成29年度三木市教育委員会重点施策経費について

協議事項16は、三木市教育委員会会議規則第5条第1項ただし書の規定により、非公開として審議したため、同規則第31条の規定により、内容については記載しない。

7 閉 会

委員長が、平成28年12月三木市教育委員会定例会の閉会を宣言した。